

ふじみ議会だより

経済建設常任委員会 料金改定 下水道料金の値上げ

2ヶ月で平均1,145円(19%)の増額 健全経営のための措置

「下水道条例の一部を改正する条例」について審議しました。

今回の条例改正について、幾つかの問題点を整理する必要があります。

まず第一に、起債残高134億円をどう返済してゆくか、第2に、使用料の適正化問題として、使用料と処理料のコスト差55円の赤字をどうするか、第3に公営企業会計に求められる、会計の健全性をどう維持してゆかか、という点です。

現在下水道事業には、地方交付税を含め町の一般財政から、総額約6億5000万円が繰出され穴埋めをしています。しかし、実質あと2億円程度を、使用料で賄ってゆく必要があります。今回の料金改定では3400万円の増収を見込んでいますが、これでもまだ健全経営には届きません。町民誰もが願うのは、当然ながら低額料金の据

委員会でも審査しました

置きですが、企業会計の特殊性から、将来的にもそれを放置することは、一般会計そのものへの圧迫が避けられない現状です。

現在、下水道事業では、組織・事務事業形態の再構築を目指し、経営努力の条件整備を目指しています。

委員会審議では6年振りの料金改定は避けられないとした意見にまとめられました。

12月定例会では定例会最終日、議員提案として「三位一体改革」の地方に及ぼす影響を危惧し、地方交付税の確保について全員一致で意見書の可決をしました。

採択した意見書、陳情書等は、町議会の意見書として関係機関に送付されました。

意見書・陳情・請願のゆくえ

◆議員提案として採択された意見書

○平成17年度地方交付税所要総額の確保に関する意見書

○長野県独自の30人規模学級の小・中全学年への早期拡大と県独自に教職員定数増を求める意見書

◆提出された陳情書

○安心・安全の医療制度の確立を求める陳情書

(賛成多数で可決……採択)

○誰もが安心して利用できる介護保険制度への改善を求める陳情書

(賛成多数で可決……採択)

○30人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情書

(賛成多数で可決……採択)

○温暖化対策税の創設を求める陳情書

(全員一致で可決……継続審査)

《議会議員活動状況・予定》

- 11/24 議会改革検討実行委員会
全員協議会
監査内容勉強会 ②
- 12/ 3 議会運営委員会
10 定例議会招集
11 パノラマスキー場オープン
21 定例議会閉会
22 郡正副議長・局長会議
- 1/ 8 商工会新年交歓会
9 成人式
消防出初式
13 議会広報編集委員会
17~ 定期監査開始
19 諏訪消防協会新年会
24 諏訪ナンバー創設促進協議会
26 全員協議会
- 2/ 4 諏訪郡市正副議長懇談会
5 広域行政研修会
8 郡正副議長・局長会議
諏訪郡公平委員会